



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 江崎グリコ株式会社

コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日

配当支払開始予定日

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	165,725	△2.3	9,483	△3.1	11,068	3.5	15,324	101.9
26年3月期第2四半期	169,684	8.3	9,784	88.6	10,690	91.1	7,588	147.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 16,748百万円 (51.1%) 26年3月期第2四半期 11,087百万円 (376.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	233.75	—
26年3月期第2四半期	130.13	—

(注) 平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	263,515	162,224	59.9	2,408.04
26年3月期	243,244	145,504	58.1	2,157.60

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 157,866百万円 26年3月期 141,441百万円

(注) 平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月31日を基準日とする期末配当金の予想は、平成26年10月1日を効力発生日として実施した普通株式2株を1株とする株式併合を踏まえております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,400	0.0	12,500	7.3	14,300	5.6	17,500	58.6	266.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「1株当たり当期純利益」は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式2株を1株の割合で併合したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	69,430,069 株	26年3月期	69,430,069 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,871,908 株	26年3月期	3,875,151 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	65,559,356 株	26年3月期2Q	58,316,907 株

(注) 平成26年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。  
また、業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式2株を1株の割合で併合したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、政府による経済対策の効果等により景気回復基調にありましたが、夏場の天候不順や消費税増税による影響に加え、海外景気の下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品原料部門、その他部門が前年同期を上回りましたが、食品部門が前年同期を下回り、また畜産加工品部門の連結除外の影響が大きく、当四半期連結売上高は165,725百万円となり、前年同期(169,684百万円)に比べ、2.3%の減収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化や、タイの子会社が洪水被害から復旧したこと等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費では、運送費及び保管費や厚生費等は減少したものの、販売促進費及び広告宣伝費等が増加しました。その結果、営業利益は9,483百万円で前年同期(9,784百万円)に比べ300百万円の減益となりました。一方で、経常利益は為替差益の影響によって11,068百万円となり、前年同期

(10,690百万円)に比べ377百万円の増益となりました。また、東京の工場跡地譲渡に伴う固定資産売却益等を特別利益に計上した結果、四半期純利益は15,324百万円となり、前年同期(7,588百万円)に比べ、7,735百万円の増益となりました。なお、畜産加工品事業を行っていたグリコハム(株)の全株式を平成26年1月14日に譲渡したため、当第2四半期連結累計期間に畜産加工品部門はありません。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## ・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高			営業利益		
	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)
菓子	49,733	4,143	109.1	3,169	864	137.5
冷菓	47,276	1,142	102.5	4,374	△287	93.8
食品	10,781	△83	99.2	230	441	—
牛乳・乳製品	49,994	735	101.5	1,879	△281	87.0
畜産加工品	—	△10,335	—	—	△478	—
食品原料	5,130	359	107.5	242	58	131.5
その他	2,807	78	102.9	92	△30	75.2
調整	—	—	—	△505	△587	—
合計	165,725	△3,959	97.7	9,483	△300	96.9

## &lt;菓子部門&gt;

売上面では、“神戸ローストショコラ”「プリッツグループ」“チーザ”等が前年同期を上回りました。

また、海外では、中国及びタイの子会社が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49,733百万円となり、前年同期(45,590百万円)に比べ9.1%の増収となりました。

利益面では、国内での増収や、タイ子会社が洪水被害から全面復旧したこと等により、営業利益は3,169百万円となり、前年同期(2,304百万円)に比べ、864百万円の増益となりました。

## &lt;冷菓部門&gt;

売上面では、“パピコ”は前年同期を下回ったものの、“アイスの実”“牧場しぼり”等が前年同期を上回り、新製品“チョコフォンデュソフト”も順調に売上を伸ばしました。また、卸売販売子会社2社も前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47,276百万円となり、前年同期(46,134百万円)に比べ2.5%の増収となりました。

利益面では、売上原価率のアップ等により、営業利益は4,374百万円となり、前年同期(4,661百万円)に比べ、287百万円の減益となりました。

## &lt;食品部門&gt;

売上面では、“ZEPPI N”等は前年同期を上回りましたが、“カップスープ”等は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,781百万円となり、前年同期(10,865百万円)に比べ0.8%の減収となりました。

利益面では、減収等はありませんでしたが、販売促進費及び広告宣伝費の削減に努めたことにより、営業利益は230百万円となり、前年同期(△210百万円)に比べ、441百万円の増益となりました。

## &lt;牛乳・乳製品部門&gt;

売上面では“ドロリッチ”等が前年同期を下回りましたが、“朝食Bifi Xヨーグルト”等が前年同期を上回り、新製品“アーモンド効果”も売上を伸ばしました。一方、キリンビバレッジ(株)からの業務受託による売上は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49,994百万円となり、前年同期(49,259百万円)に比べ1.5%の増収となりました。

利益面では、積極的な販売対策の実施により販売促進費及び広告宣伝費が増加したため、営業利益は1,879百万円となり、前年同期(2,161百万円)に比べ、281百万円の減益となりました。

## &lt;食品原料部門&gt;

売上面では、“A-グル”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,130百万円となり、前年同期(4,770百万円)に比べ7.5%の増収となりました。

利益面では、円安による輸入原料価格の上昇の影響を受けて売上原価率がアップしましたが、一般経費の削減等により、営業利益は242百万円となり、前年同期(184百万円)に比べ、58百万円の増益となりました。

## &lt;その他部門&gt;

売上面では、スポーツフーズは前年同期を下回ったものの、オフィスグリコが前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,807百万円となり、前年同期(2,728百万円)に比べ2.9%の増収となりました。

利益面では、一般経費の増加等により、営業利益は92百万円となり、前年同期(122百万円)に比べ30百万円の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は263,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,270百万円増加しました。流動資産は136,582百万円となり、21,712百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、有価証券の増加によるものです。固定資産は126,932百万円となり、1,442百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は101,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,550百万円増加しました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加となります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は162,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,720百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加となります。この結果、自己資本比率は59.9%(前連結会計年度末比1.8%増)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成26年6月16日の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 320,000	百万円 12,500	百万円 13,200	百万円 16,200	円 銭 247.12
今回修正予想(B)	315,400	12,500	14,300	17,500	266.93
増減額(B-A)	△4,600	—	1,100	1,300	—
増減率(%)	△1.4	—	8.3	8.0	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	315,399	11,645	13,539	11,033	178.19

(注)「1株当たり当期純利益」は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式2株を1株の割合で併合したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が726百万円、退職給付に係る負債が906百万円それぞれ減少し、利益剰余金が115百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響につきましては、金額が軽微であるため記載を省略しております。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取り扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、現在導入している制度は、適用初年度の期首より前に締結された信託契約によるため、それに係る会計処理については従来採用していた方法を継続適用しております。そのため、当第2四半期連結財務諸表への影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,720	37,959
受取手形及び売掛金	30,686	35,126
有価証券	27,857	34,316
商品及び製品	9,503	10,265
仕掛品	816	766
原材料及び貯蔵品	10,064	11,412
その他	7,318	6,878
貸倒引当金	△98	△143
流動資産合計	114,869	136,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,408	21,884
機械装置及び運搬具(純額)	27,351	26,066
土地	14,798	13,823
リース資産(純額)	524	498
建設仮勘定	2,163	3,015
その他(純額)	3,423	3,620
有形固定資産合計	70,671	68,908
無形固定資産		
その他	3,644	3,537
無形固定資産合計	3,644	3,537
投資その他の資産		
投資有価証券	42,356	46,146
その他	11,865	8,470
貸倒引当金	△162	△129
投資その他の資産合計	54,059	54,487
固定資産合計	128,374	126,932
資産合計	243,244	263,515

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,749	31,309
短期借入金	8,025	7,242
1年内返済予定の長期借入金	10,000	—
未払費用	20,483	24,136
未払法人税等	1,960	5,336
販売促進引当金	1,584	1,634
役員賞与引当金	44	—
その他	6,455	6,590
流動負債合計	74,301	76,249
固定負債		
長期借入金	5,331	5,236
退職給付に係る負債	11,063	10,180
事業構造改善引当金	105	105
その他	6,938	9,519
固定負債合計	23,438	25,040
負債合計	97,740	101,290
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,413	7,444
利益剰余金	124,123	139,478
自己株式	△6,610	△6,636
株主資本合計	132,700	148,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,478	9,733
為替換算調整勘定	2,087	804
退職給付に係る調整累計額	△824	△731
その他の包括利益累計額合計	8,740	9,806
少数株主持分	4,062	4,358
純資産合計	145,504	162,224
負債純資産合計	243,244	263,515

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	169,684	165,725
売上原価	95,253	92,268
売上総利益	74,431	73,456
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	15,628	14,780
販売促進費	22,904	23,292
販売促進引当金繰入額	75	50
広告宣伝費	5,625	6,036
退職給付引当金繰入額	826	—
退職給付費用	—	480
その他	19,587	19,332
販売費及び一般管理費合計	64,647	63,972
営業利益	9,784	9,483
営業外収益		
受取利息	120	179
受取配当金	481	359
為替差益	46	624
その他	824	868
営業外収益合計	1,472	2,032
営業外費用		
支払利息	139	100
固定資産除却損	89	124
その他	336	223
営業外費用合計	565	448
経常利益	10,690	11,068
特別利益		
固定資産売却益	38	11,948
投資有価証券売却益	312	247
投資有価証券償還益	611	—
その他	—	96
特別利益合計	961	12,291
特別損失		
減損損失	105	15
災害による損失	78	—
その他	9	0
特別損失合計	193	15
税金等調整前四半期純利益	11,458	23,344
法人税、住民税及び事業税	3,516	5,780
法人税等調整額	259	1,696
法人税等合計	3,776	7,477
少数株主損益調整前四半期純利益	7,681	15,866
少数株主利益	92	542
四半期純利益	7,588	15,324
少数株主利益	92	542
少数株主損益調整前四半期純利益	7,681	15,866

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	593	2,255
繰延ヘッジ損益	41	—
為替換算調整勘定	2,771	△1,393
退職給付に係る調整額	—	93
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△73
その他の包括利益合計	3,406	881
四半期包括利益	11,087	16,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,445	16,437
少数株主に係る四半期包括利益	642	311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	畜産加 工品	食品 原料	計				
売上高											
外部顧客への売 上高	45,590	46,134	10,865	49,259	10,335	4,770	166,955	2,728	169,684	—	169,684
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	328	—	—	87	113	134	663	1,601	2,264	△2,264	—
計	45,918	46,134	10,865	49,347	10,449	4,905	167,619	4,329	171,949	△2,264	169,684
セグメント利益又は 損失(△)	2,304	4,661	△210	2,161	478	184	9,579	122	9,702	81	9,784

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額81百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額604百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△523百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行ってあります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売 上高	49,733	47,276	10,781	49,994	5,130	162,917	2,807	165,725	—	165,725
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	332	—	—	136	69	538	1,713	2,252	△2,252	—
計	50,066	47,276	10,781	50,131	5,199	163,456	4,521	167,977	△2,252	165,725
セグメント利益	3,169	4,374	230	1,879	242	9,897	92	9,989	△505	9,483

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額541百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,047百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
  3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
  4. 畜産加工品事業を行っていたグリコハム(株)の全株式を平成26年1月14日に譲渡したため、当第2四半期連結累計期間において、「畜産加工品部門」はありません。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため記載を省略しております。